



Small Hands 小さな手

増刊5号 1999年10月1日

ホロコースト記念館・Small Hands
〒720-0004 広島県福山市御幸町中津原866
TEL&FAX 0849-55-8001
<http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn>
E-mail: hecjpn@urban.ne.jp

ホロコースト・日本こども会議 '99 ヤッフア・エリヤフ教授をおむかえして

1999年7月29日、福山県民文化センターで、『ホロコースト・日本こども会議 '99』が開催されました。この会議のメインゲストとして、ニューヨーク市立大学教授、ヤッフア・エリヤフさんをお迎えしました。ヤッフアさんは、今から58年前、わずか4歳の時に、ポーランドのエイシスキ村でホロコーストを体験し奇跡的に生き延びられた方です。

スモールハンズは、昨年の12月から毎月記念館に集まって準備をしてきました。どのようにして、人々に平和の大切さを知ってもらうことができるかを話し合い、プログラムの構成や当日の係りなどの打合せを行ってきました。こども会議が近づくにつれて、会場でリハーサルを重ねながら、いよいよ本番をむかえたのです。

29日当日、約400名の子どもや大人の人たちが会場に集まってきました。プログラムは、ホロコーストの過去・現在・未来の3部に分かれ、詩の朗読、エイシスキ村の劇、こどもたちによるホロコーストの歌、アンネ平和賞の作文朗読、平和団体の紹介、バラの贈呈、平和フォーラムなど、多彩なプログラムが展開されました。一番のメインは、ヤッフアさんの講演でしたが、「私は、20世紀の橋の片方にいますが、21世紀をになうあなたたちが、橋のもう片方にいます。どうか21世紀への架け橋となってください。」と、自らのつらい体験を話した後に語られた言葉が忘れられません。

会議の最後、わたしたちスモールハンズが『平和スピーチ』をしました。

「もうすぐ21世紀を迎えます。わたしたちは、21世紀をになう子どもです。『平和、いま私にできること、平和、いまあなたにできること』、いっしょに考えてみませんか。二度とホロコーストを繰り返さないために、ホロコーストの事実を学びつづけます。そして、伝えつづけます。1999年7月29日、今日がわたしたちの出発点です。

Small Hands Create Peace! 平和をつくりだそう、小さな手で！」

今回のこども会議を通して、もっとホロコーストがわかり、これからの未来を生きるわたしたちが、いじめや差別のない平和な世界をつくっていきたいと思いました。わたしたちの小さな手でも、力を合わせるなら、平和をつくりだす大きな手となるのです。

(府中高校2年・大塚 崇)



ヤッフアさんとSmall Hands 1999年7月29日

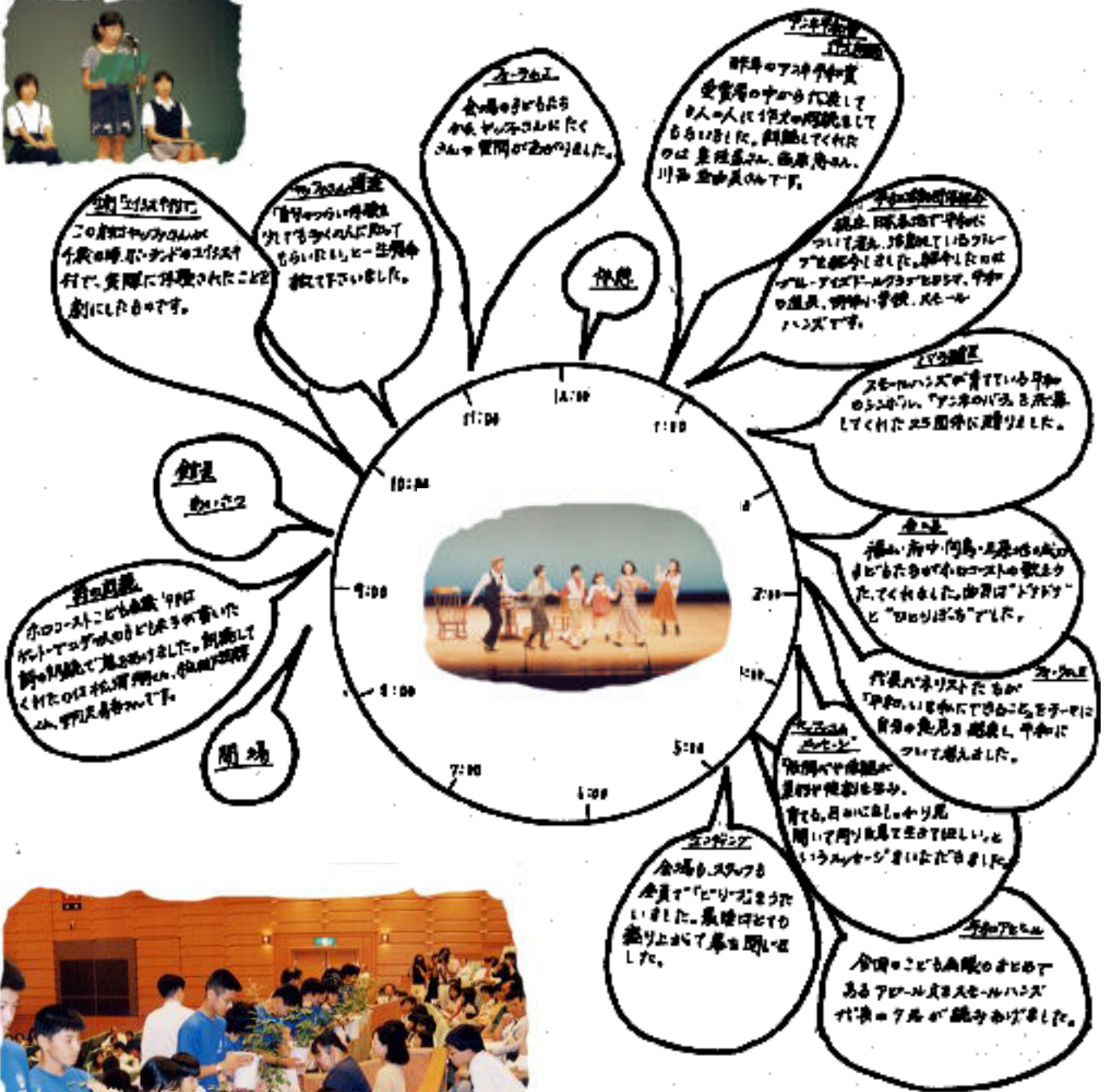
ヤッフアさんからのメッセージ「日本の子どもたちへ」(要約)

わたしの親愛なるお友達、今日は私にとって、これまでの人生の中で最も感動的な日でした。これまで私が参加した講演や会議では、舞台の上にはいつも大人の人たちがいました。今日のように子どもたちがステージに上にいることは、私にとって初めての経験です。

私から一つの提案です。あなたたちの活動をビデオや展示、インターネットを通して世界の子どもたちに紹介してはどうでしょうか。私はあなたたちが、世界の平和をつくりだすリーダーになれると強く感じています。皆さんは平和につながっている橋です。私は20世紀の橋の片方に立っています。橋のもう片方には、21世紀を担うあなたたちが立っています。平和をつくりだすあなた達の手は決して小さな手ではなく、大きな手だと思います。その手が、世界に平和をもたらすことを、強く願っています。

(幸千中学1年・神原可奈美)

ホロコースト・日本子ども会議 '99 「平和、いま私にできること」 福山会場では、こんなことをしました！



- 福山会場でアンネのバラを贈呈した23団体名 -
世羅中学校生徒会、世羅中学校、福相小学校、久保中学校文芸部、霞小学校、松永高校、河内高校解放研、沼田小学校児童会、神辺東中学校生徒会、御野小学校、神辺西中学校、湯田小学校、あすなろ解放子ども会、たけのこ解放子ども会、ともえたいよう解放子ども会、さくら解放子ども会、あらせ解放子ども会、神村12区解放子ども会、広島大学附属福山中・高等学校園芸部、赤坂小学校、明王台小学校、平石幼稚園、仁尾中学校

ホロコースト・日本こども会議'99は、福山会場の他、岡山、京都、東京会場でも行われました。各会場はすべて、私たちと同じ子どもたちが中心になって、会議を行いました。各会場の様子を運営の中心になってくれた子どもたちに聞いてみました。

【岡山会場】

岡山では、7月31日(木)午後1時30分～3時30分、岡山ガボア・ホールを会場に行われました。会場には高校生をはじめ約100名の聴衆が集まりました。企画から運営まで地元の岡山城東高校の国際理解部(藤村与志子さん、荒木裕子さん、同校ボランティアの皆さん)が中心になって準備し、当日も司会、通訳などを担当しました。実行委員のメンバーは事前にホロコースト記念館を見学、また直前の福山会場でのこども会議にも出席して本番に備えました。

会議では講演に先立って、高校生によってホロコーストの歴史が紹介され、ヤッフアさんのお話を聞く準備になりました。

ヤッフアさんは高校生を前に「平和な21世紀を築いて下さい」と語られ、ご自身の悲惨な体験を乗り越えて、平和を語られるお姿は聞く全ての人に感動を与えました。講演に続いて質問の時間があり、「アメリカでホロコースト博物館を建てるときなどに心の支えになったものは何ですか?」などの高校生の質問に、丁寧に答えていかれました。

【京都会場】

京都では、8月5日(木)午後1時30分～3時30分、立命館大学国際平和ミュージアムを会場に行われました。こども会議には、子どもが70人くらい、大人が15人くらいで、新聞記者も4人来て下さいました。

私達は4月からこども会議のための実行委員会を開きました。たった4ヶ月の準備でしたが、子どもだけで70人も集まりました。私達のプログラムの良かった点は、討論です。講演を聴いてできた疑問をヤッフアさんに質問し質問し、答えてもらいました。

講演に参加した子どもたちの感想より・・・「今日聞いたことを家族、友人に話したい。」「祖母、祖父に戦争体験を聞きたい。」「たとえ国が違って、その人を理解することが大切だと思った。」

(東山高校3年・藤本健一)



京都会場にて 1999年8月5日

【東京会場】

東京では8月8日(日)午後1時30分～3時30分、東京ウィメンズプラザを会場に行われ、280人の人たちが集まってくれました。初めは、ホロコーストという言葉さえ知りませんでした。6月頃から勉強会をし、こども会議のために準備しました。

ヤッフアさんのお話を聞いて、平和ということがどんなに素晴らしいことなのか、身にしみてわかったような気がします。平和を作るというのは難しいことのような気がしたけれど、だれだって平和を作るために何かできるはず。思いやりの気持ちを持って人に接することも平和を作るための一つだと思います。もしこの気持ちを持っている人がたくさんいたら、尊い命が失われることはなかったかもしれません。

私たちの今の生活は普通ではなく、とても恵まれていたことに気づきました。自由に外で遊んだり、学校で勉強すること、私たちが普通にしていることにおかれ、なにもできないまま死んでいった人々がたくさんいるので

その人達の命を無駄にしないためにも、私たちに平和な未来を作っていく責任があるのです。

私たちは会議に参加して、もっと知り

りたい、知らない人に知ってもらいたいと思い、東京のセンターで新聞作りのメンバーになりました。

(東村山第一中学2年・山本由貴/
星美学園高校2年・栗原麻衣子)



東京会場にて 1999年8月8日

福山でホロコースト・日本こども会議'99
生存の米大学教授講演
県内外400人 平和考える

命の尊さ…忘れません

「生存の米」を語るエリヤフさん
講演の余韻がまだ残っている。福山でホロコースト・日本こども会議'99の東京会場。講演終了後、エリヤフさんと参加者たちとの交流が盛んに行われていた。

エリヤフさんは、講演の中で「平和な未来を築くためには、過去の歴史をしっかりと学ぶ必要がある」と述べた。また、「平和は争いによって達成されるものではなく、お互いの理解と尊重によって築かれる」とも述べた。

講演終了後、エリヤフさんと参加者たちとの交流が盛んに行われていた。エリヤフさんは、参加者たちから多くの質問を受け、丁寧に答えてくれた。また、参加者たちと握手を交わす姿も見られた。

講演終了後、エリヤフさんと参加者たちとの交流が盛んに行われていた。エリヤフさんは、参加者たちから多くの質問を受け、丁寧に答えてくれた。また、参加者たちと握手を交わす姿も見られた。

福山会場を企画・運営したスモールハンズの感想を拾ってみました。

<良かったこと>充実感があってよかった(末広、愛美)いろんな人の意見が聞けてよかった(智行)きんちょうしたけど、自分の意見が言えてよかった(酒井、長田、三宅)たくさん人の前でしゃべるのは、あまり慣れていないので緊張した。とりあえず自分の意見を言えたのでよかったと思う(甲斐)たくさんの人に来てもらえてよかった(前田)協力できてよかった(椋島)成功してよかった(訓子)司会の人がよくがんばっていた。けっこう、もりあがったのでよかった(北村)ヤッフアさんの話をきけて、ホロコーストの事を学べた(扶三枝、亜季菜、門田)

<うれしかったこと>ヤッフアさんと話せてうれしかった(愛美、美喜、慶美)歌を歌った時、うれしくなった(平井真理子、辻)ヤッフアさんにサインをもらえてうれしかった(大助)

<役割を果たして思ったこと>つかれたけど、楽しかった(松田)初めての大きな仕事でとても緊張した。色々な人の前でしゃべるといふことで、こんなに緊張するんだなと思った。この経験をこれからいかしていきたい(神原)いろいろ大変だった(藤井)もう少し、仕事がやりたかった(赤木)とてもいい経験になった(山下、目崎)準備に大変だったけど、その準備した分は出し切れていたと思う(岩本)やるだけの事はやった(植松)タイム・キーパー最高(福本)いい経験だった(青木)

<その他>みんなすばらしい事を考えていたのですごいなと思った(光井)平和の大切さを考えた(川西)

会場の皆さんの感想を拾ってみました。

【子どもたち】なぜドイツは、ユダヤ人を殺すのか分からなかった(小5女子)寸劇はすごい迫力だった(小4男子)ヤッフアさんは父が言ったことをまだ覚えていた。家族を大切に思っているのだなと思った(小4女子)エイシスキ村にはユダヤ人がたくさんいたのに、たった二日でほとんど殺されてしまったのには、すごくびっくりした(小6男子)ヤッフアさん自身がホロコーストを体験しているだけに、「平和への熱意」がとても伝わってきた。私はこれからもホロコーストの事実を知り、平和をつくり出すためにいろいろなことをしていきたいと思う(中2女子)最後のピリブ合唱がすごくよかったです(小5女子)

【大人のみなさん】今、生きている私達が、平和をつくり出す一人一人だと思った(29才女性)一日も早く、人間が人間を傷つけることがなくなるよう強く願っている。いまだ民族紛争がたえずおこっている(28才男性)

ヤッフアさんの目標をもって生きておられる姿に感動した(42才女性)命の大切さについてしみじみ考えさせられた(女性)すべて子どもの自主性がでて表現されているのがよかった(55才女性)



フォーラム「平和、いま私にできること」

ホロコースト・日本子ども会議 '99 「子ども平和アピール」

ホロコーストとは、ギリシャ語で「全てを焼きつくす」という意味です。1933年から1945年にかけて、ヨーロッパ、ロシアで起こされました。ホロコーストで殺されたユダヤ人は600万人と言われ、そのうち150万人が子どもでした。

ヤッフア・エリヤフさんは、そのホロコーストを生き残った一人です。ヤッフアさんが4歳まで過ごしたエイシスキ村では、3500人のユダヤ人のうち、生還できたのはわずか29人、子どもは900人のうち4人だけでした。今はもうユダヤ人の住むエイシスキ村は存在しません。このユダヤ人大虐殺は、人々の差別や偏見、無関心から大きく広がっていったのです。

この事実を聞いて、あなたは何を考えるでしょうか？

ヤッフアさんは、その苦しい体験を乗り越えて、アメリカでホロコースト・センターをつくりました。ヤッフアさんはたった一人で全世界をまわって、まずエイシスキ村に住んでいた人びとの名前と写真を集めることから始めました。それは、全世界の人々にホロコーストの事実を知ってほしい、という強い思いからでした。

福山市にあるホロコースト記念館の大塚信館長は、今から28年前にアンネ・フランクの父オットーさんと出会いました。そして「アンネの悲劇的な死に同情するだけでなく、平和のために何かをする人になってほしい」という言葉を受けつぎ、「日本の子どもたちに、ホロコーストの事実を伝えたい」と記念館をつくりました。それは人の手によって起こされた、20世紀の悲劇ホロコーストが、また、人の手によって回復されなければならないからです。

1995年7月の開館以来、32,500人の人たちが訪れ、ホロコーストについて学びました。その中で、私たちSmall Handsは生まれました。「小さな手」という新聞を発行したり、記念館紹介のビデオを作ったり、また、平和のシンボル、アンネのバラを全国に贈呈しながら、「平和、いま私にできること」を考え、活動してきました。そして今年、ホロコースト・日本子ども会議を私たちの手で開くことができました。この4年間、思いやりの心や、人を受け入れることの大切さを学びました。

もうすぐ21世紀を迎えます。私たちは、21世紀を担う子どもです。「平和、いま私にできること」「平和、いまあなたにできること」、いっしょに考えてみませんか。

二度とホロコーストを繰り返さないために、ホロコーストの事実を学びつづけましょう。そして、伝えつづけましょう。

1999年7月29日、今日が私たちの出発点です。

Small Hand s Create Peace! 平和をつくりだそう、小さな手で!!



子ども平和アピール